

キャラクター名
 浦月 洞爺 (ウラツキ・トウヤ)

プレイヤー名

シンドローム	エグザイル キュマイラ		ワークス	アーティスト	カヴァー	ナルキス・オーヴァード
	オプション		年齢	32	性別	男
覚醒	死	衝動	自傷	初期侵食率	40	%
出自	天涯孤独(両親)	経験	喪失(自分のアトリエ)	邂逅	友人(雨ヶ崎竜之介)	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	106
肉体	5	0	0			5	行動値	3
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	3
精神	0	1	0			1	戦闘移動	8
社会	2	0	0			2	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC			交渉		
回避			知覚	1		意志	4		調達		
運転:			芸術	5		知識			情報:ウェブ	2	
運転:			芸術			知識			情報:噂話	4	
運転:			芸術			知識			情報:		
運転:			芸術			知識			情報:		
運転:			芸術			知識			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス・屍人	P	N		
自分のアトリエ	P 純愛	N 不安		
雨ヶ崎竜之介	P 尊敬	N 嫉妬		
《ディアボス》春日 恭司	P 信頼	N 憐憫		
ギュスターヴ	P 慕情	N 恐怖		
沖原 龍二	P 尊敬	N 羨望		
御月	P 執着	N 敵愾心		

最大財産P: 4 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
巨人の生命	5	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: HP+25/基本浸食+3								
異形の刻印	10	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: HP+50/基本浸食+3								
鋼の肉体	5	2	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: BS回復/HPを[(Lv)D+【肉体】]点回復								
軍神の守り	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果: カバーリング/1メインプロセスに1回								
イージスの盾	3	3	At	至近	自身	自動	-	
効果: ガード値+[Lv]D								
スプリングシールド	3	2	At	至近	自身	自動	-	
効果: ガード値+10/シーンLv回								
異形の歩み	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: どんな場所でも移動可能/必要なら【肉体】判定								
環境適応	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: クラム EAp.71								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

イタミ・オーヴァードクラン創設者。
 現在会員は会長である彼一人である、さみしい。
 スゴイ嗜虐趣味かつ被虐趣味の精神異常者、ヤバイ！
 6年前にバス事故に巻き込まれて死亡
 死亡！
 その際に覚醒したが、彼の衝動である自傷が悪い方向に作用。
 人一倍人に対して優しく、人を傷つけることを嫌っていた彼であったが、「自傷」の衝動が暴走！
 人を傷つけることで自身に対して非常に強い「イタミ」を感じた彼はひたすらに殺戮に興じる狂人となりさがってしまった！
 ショッキョ・ムツジョ！あの時の優しい彼はもう戻らないのだ！
 何たる悲劇！ブツッよ、寝ているのですか！
 最初に両親を殺害し、歯止めが利かなくなった後は人をさらっては殺していた。
 しかしそれだけでは満足できなくなり、いつしか彼はゲイジツに興味を持つようになった。
 ちょっとやめなないか。
 彼は「縛る」ことと「傷つける」ことを両方可能にする有刺鉄線にたいして異常な関心を持ち、ゲイジツに利用していた。
 N市周辺で人をさらってアトリエでゲイジツに動んでいたが、ある日ジャームの襲撃を受けてアトリエが全焼。
 「アーツ！アトリエがーッ！私のアトリエがーッ！アイエエエエエ！！」
 実際は踏み込んだジャームが彼のアトリエのマップーめいた風景にORS(オーヴァード・リアリティ・ショック)を起こし、放火してしまったのだ、ナムサン！
 しかし彼には戦闘能力はなく、ただ苦痛に興じることしかできない肉体と能力であった。
 結果ジャームは逃走、後には焼けたアトリエの残骸だけが残った。